

民衆の声  
ボイス

No.86

公明党 横浜市会ニュース

## VOICEよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL.671-3023 FAX.681-2060

危険ブロック塀改修へ補助金制度  
公明党市議団の緊急要望がカタチに!

10月4日より、市内全域で個人が所有するコンクリートブロック塀等の改善工事を対象とした補助制度が新たにスタートしました。

対象は、①ブロック塀等の除却工事：多くの人が行き交う道路に面する塀などで、高さが1m以上かつ個人所有のものについて、原則、全て除去する場合  
②軽量フェンス等の新設工事：除去工事とセットで

軽量なフェンスや門または生垣を設置する場合です。

補助率は、①が対象工事費の9/10②が対象工事費の1/2、上限額は30万円(ただし、新設工事は除却工事と合わせた上限額)です。

《問い合わせ先》 建築局建築防災課

Tel:045-671-2930

横浜市 ブロック塀等改善 検索



[ブロック塀]



[除却]



[新設フェンス]

### ● 学校施設のブロック塀の安全対策

6月に行った緊急調査に続いて、技術職員による専門点検を実施。その結果、現行の建築基準法に合致しないブロック塀等を有する学校が61校あることが判明。これらについては全て解体しフェンスなどに置き換える方針で、8月下旬から順次解体を進めています。

今年度中に対象校全ての工事を終える予定ですが、1日も早い完了を目指してまいります。

## 小児医療費助成 来春、中学3年生まで拡大

公明党市議団は、平成4年に初めて無料化を主張して以来、一貫して制度の拡充を求めてきました。

平成7年1月に0歳児の入院と通院が無料化、19年4月には対象が就学前まで、さらに24年9月に小学1年、27年10月には小学3年、29年4月には小学6年まで拡大。来年4月には中学3年まで対象が拡大します。小学4年から中学3年については、1回の診療で上限500円の自己負担が求められます。引続き、全額助成、所得制限の緩和・撤廃を求め、さらなる制度の充実を図ってまいります。

## ヒバクシャ国際署名 に市長が署名

林市長は、核兵器廃絶国際署名について、10月11日に開催された決算特別委員会にて公明党の質問に答え「6



月の平和条例を踏まえ、署名を行う」と表明し、15日に署名を行いました。ピースメッセンジャー都市・横浜の大きな前進です。

## 横浜北西線建設現場へ



9月1日、公明党市議団は、石井国交大臣、佐々木さやか参院議員とともに、東名高速道路の横浜青葉インターチェンジと第三京浜道路の横浜港北ジャンクションを結ぶ自動車専用道路・横浜環状北西線のシールド工法によるトンネルの建設現場を視察しました。2020年の開通を目指しています。

横浜環状北西線の建設現場

## 平成31年度 予算要望書を提出

10月26日、公明党市議団は林文字市長に予算要望書を提出しました。これまでに頂いた市民相談や団体要望などを踏まえて、「防災・減災・危機管理」「子育て・青少年」「障がい者福祉」など、最重要要望から各区要望まで440件で構成されています。



## 五大市政策研究会を神戸市で



8月2日、横浜・名古屋・京都・大阪・神戸の五大市の公明党議員による政策研究会を開催しました。今年度のテーマは

「認知症対策の取組と課題」。各市の施策・取り組みを発表し意見交換。各都市の施策を学び合うだけでなく更なる施策の充実へ、五大市として国への提言も取りまとめます。

## 北海道地震からの早期復興を願って



から頂いた真心の募金を、しっかりと現地へお届けしてまいります。

9月15日、上大岡駅前にて「北海道胆振地方中東部を震源とする地震災害救援の会」の有志の皆さまと共に、街頭募金活動を実施。多くの皆さま

## LGBT の勉強会を開催



8月30日、公明党市議団は明治大学の鈴木賢教授を招き、LGBTに関する勉強会を開催しました。

LGBTとは、Lレズビアン、Gゲイ、Bバイセクシユアル、Tトランスジェンダーの略称で、いわゆる性的少数者の総称です。日本においても人口の約6%を占めるとの推計もありますが、社会生活上的様々な制約を受けています。

市議団は国の法整備の方向性を見据え、市民意識の啓発、横浜市におけるパートナーシップ制度の導入等の検討を進めてまいります。

# 平成29年度決算特別委員会の論戦から

## 教育委員会

### 『SNSいじめ対策の推進』



行田 朝仁（青葉区選出）

昨今のネットいじめは、ネットパトロールでも分からず、発見が困難になっている。教育委員会だけでなく、市全体で取り組むべきと質問しました。

荒木田副市長は「幅広く捉え、本市として出来る方策を検討する」と答弁しました。引き続き、いじめ対策に尽力してまいります。

## 子ども青少年局

### 『困難を抱える若者支援』

ひきこもりなどの困難を抱える若者を支える仕組みが、まだ十分とは言えない状況にあり、セミナー・相談会をより充実すべきと質問しました。

局長は「各区での実施状況を踏まえ、実施回数や場所の選定、広報の手法、内容等につき今後検討する」と答弁しました。支援の強化を図ってまいります。

## 消防局

### 『火災罹災者への支援』



竹内 康洋（神奈川区選出）

火災に罹災された方は当日、親族等のごとくに身を寄せている現状です。高齢単独世帯等が増加する中で、火災に罹災された方の、当日避難、宿泊場所の体制、仕組みづくりが必要であると質問しました。

副市長からは、単身高齢世帯等が増える中で、消防局及び関係局と連携して対応を検討していくと答弁しました。

## 経済局

### 『健康経営の取組み』



中島 光徳（戸塚区選出）

本市で行っている独自の健康経営の取組みについて目的と普及及び効果について質問しました。

局長及び担当理事からは従業員の方々の健康増進や生産性向上など企業の経営力向上が目的で効果測定のための調査では従業員が健康を損なうことによつて生じる労働生産性の損失額が、従業員一人当たり年間76万6千円であると、試算されると答弁しました。

## 健康福祉局

### 『高齢者の住まいの確保』

高齢者が住み慣れた地域で、住まいを確保するための取組について質問しました。

副市長からは、住み慣れた地域で暮らし続けるための相談体制や仕組みを検討し、転居の相談もきちんと受け止めて、しっかり支援する体制を整えていくと答弁しました。

## 資源循環局

### 『災害時の廃棄物処理』



和田 卓生（旭区選出）

横浜市災害廃棄物処理計画について質問しました。

災害時における廃棄物の収集時期や排出方法について、収集体制が整い次第、発災後概ね72時間までに順次収集を開始すること。「生活ごみ」は通常の分別を基本とし、壊れた家具や家電などは「片付けごみ」として「生活ごみ」とは区別して収集する

こと。また、地域防災拠点等の仮設トイレのし尿収集については、発災後2日目から対応するなど、早期に生活再建につながる具体的な取組が明らかになりました。

## 国際局

### 『核兵器に対する取組みと国際協力』



高橋 正治（緑区選出）

「核兵器のない世界の実現を強く求める決議」を踏まえた取組みと国際協力の意義について質問しました。

局長は、第9回平和首長会議総会に加盟後初めて参加し、世界諸都市と連携を確認、核兵器廃絶の願いを共有したこと。そして、国際平和講演会を9年ぶりに開催し平和の市民啓発を行ったこと。また、国際協力については、都市課題解決の経験をもとに、途上国の都市インフラ・ノウハウの不足や、災害対策など、温暖化対策等の世界的な課題に取り組むことに意義があると答弁しました。

## 交通局

### 『市営地下鉄上大岡駅を改修』



安西 英俊（港南区選出）

長年要望してきた市営地下鉄上大岡駅のリニューアルについて質問しました。

市交通局は、「計画では、京急線との連絡改札口周辺などにエレベーター2基を新設。音声案内などを導入するほか、壁や天井も新する。多機能トイレも2か所に新設し、うち1か所はオストメイ ト（人工肛門・人工ぼうこう保有者）対応とする。女性用にトイレに化粧専用コーナーを設けるほか、入り口の段差解消にも努めると答弁しました。

# 決算特別委員会で港湾局を審査

横浜市会の平成 30 年第 3 回定例会において平成 29 年度決算を審査する特別委員会が設置され、仁田まさとし市議は港湾局審査で質問しました。その中で、帆船日本丸の大規模改修や新港 9 号客船ターミナルの整備などを取り上げました。

## 帆船日本丸の保存活用

国産初の大型ディーゼルエンジンが搭載され、リベット構造という造船技術史上貴重な価値を有する帆船日本丸は、昨年 9 月に国の重要文化財に指定されました。船齢 88 年を超え老朽化が進むことから大規模改修されることとなり 2020 年の東京五輪・パラリンピック前の公開を目指します。

大規模改修にあたって、重要文化財としての価値と安全性の両立、技術の保全・保存と継承する人材の確保、改修への市民の機運を高め資金確保に努めること等を求めました。

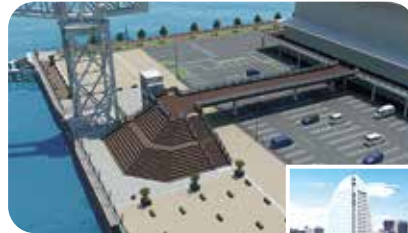


帆船 日本丸

## 新港9号客船ターミナルとハンマーヘッド

明治時代後期から大正時代にかけて整備され近代港湾発祥の地である新港ふ頭に、新たな客船ターミナルの整備が進められ、横浜開港 160 周年の明年秋の竣工を目指します。

また、その先には、100 年以上前に建造された大型港湾荷役機械「ハンマーヘッドクレーン」があり、過日、土木学会の土木選奨遺産に認定されました。それを保存し、2020 年春に向けてその周辺を「ハンマーヘッド



ハンマーヘッドパーク (パース)



新港客船ターミナル (パース)

パーク」として開港の歴史を感じられる緑地に整備されることが明らかとなりました。

# 仁田まさとしが実現した【横浜市会公明党の主な実績】



動く、創る、変える。  
横浜市会議員(南区選出)  
仁田まさとし

- 子育て世代包括支援センターの展開
- 母子保健コーディネーターのモデル配置
- 小児医療費助成制度の対象年齢拡大
- 保育・教育コンシェルジュの設置
- 防災・減災推進員の創設
- 防災ヘルメットの小学生への支給
- 地域防災拠点の資機材の見直し
- 健康寿命延伸施策の推進
- 認知症サポーター養成の推進
- 救急電話相談の開設と拡充(#7119)
- 「あんしん入居事業」の創設と拡充
- 家庭ごみの「ふれあい収集」の実施
- アレルギーセンターの設置と拡充
- 省エネ、再エネ、水素の利活用の推進
- 南区総合庁舎のエネルギーの自立化と省エネ化
- 横浜市国際平和の推進に関する条例の制定

### プロフィール

昭和 31 年 8 月 横浜市南区に生まれる  
昭和 44 年 3 月 横浜市立大岡小学校卒業  
昭和 47 年 3 月 私立浅野中学校卒業  
昭和 50 年 3 月 私立浅野高校卒業  
昭和 54 年 3 月 横浜国立大学工学部卒業  
昭和 54 年 4 月 株式会社巴川製紙入社  
記録材料関連の研究開発および新規事業の企画・事業化に従事  
電子情報通信学会会員、画像電子学会論文編集委員を歴任

平成 6 年 11 月 株式会社巴川製紙退社  
平成 7 年 4 月 横浜市会議員に初当選(現在6期目)  
\*\*\*\*\*  
【議会役職】  
建築・都市整備・道路委員会 委員  
減災対策推進特別委員会 副委員長  
【党役職】  
県本部幹事会会長、同 南支部長  
東海道方面本部副本部長

【家族】  
妻と一男二女、母  
【血液型】  
B型  
【座右の銘】  
疾風に勁草を知る



メルマガの登録はこちらへ